

アミノインデックス® リスクスクリーニング (AIRS®)

アミノインデックス®
がんリスクスクリーニング
(AICS® :AminolIndex® Cancer Screening)

+

アミノインデックス®
生活習慣病リスクスクリーニング
(AILS® :AminolIndex® LifeStyle diseases)

血液中のアミノ酸濃度バランスの変動に着目し、AIRS®は1回の採血（5ml程度）により、現在がんである可能性（男性5種、女性6種）を評価する**アミノインデックス®がんリスクスクリーニング (AICS®)**と4年以内に糖尿病になるリスクを評価する**アミノインデックス®生活習慣病リスクスクリーニング (AILS®)**を一度に評価します。

・検査項目

検査項目	評価項目	評価内容	対象年齢*	
男性 AIRS®	AICS®	男性AICS（5種） 現在がんである可能性 対象となるがん種：胃がん、肺がん、大腸がん、 膵臓がん、前立腺がん	25～90歳 (前立腺がんは40～90歳)	
	エーアイエルエス AILS®	AILS（糖尿病リスク） **	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20～80歳
		AILS（アミノ酸レベル）	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	
女性 AIRS®	AICS®	女性AICS（6種） 現在がんである可能性 対象となるがん種：胃がん、肺がん、大腸がん、 膵臓がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん***	25～90歳 (子宮がん・卵巣がんは20～80歳)	
	エーアイエルエス AILS®	AILS（糖尿病リスク） **	4年以内に糖尿病を発症するリスク	20～80歳
		AILS（アミノ酸レベル）	血液中の必須・準必須アミノ酸の低さ	

* AIRS®は上記年齢の日本人を対象として開発された検査です。これらの方以外の結果は報告されますが、評価対象外となります。

** 糖尿病の方（治療中を含む）のAILS（糖尿病リスク）値やランク評価、検査結果に基づくタイプについて、結果が出力されますが、いずれも評価対象外となります。

*** 子宮がん・卵巣がんは、子宮頸がん、子宮体がん、卵巣がんのいずれかのがんである可能性について評価することはできませんが、それぞれのがんの可能性について区別することはできません。

AICSは、腫瘍マーカーとどう違うの？

腫瘍マーカーは、ひとつひとつ部位によってつけなければいけません。また、ある程度進行したがんを見つけるのに有効と言われており、治療中のがんの様子を知るために検査を行うことが多いですが、AICSでは一度に男性なら5種、女性なら6種のがん可能性を引き出すことが可能で、初期のがんに対して有効な検査です。

がんの検査をしたことがない、心配なので一度やってみたいという方にアミノインデックス(AICS) はおすすめです。

料金：32,400円（税込）

・検査可能な条件

！！アミノインデックスは、午前中のみ可能な検査となりますので、ご注意ください！！

食事

検査前の8時間は
水以外は



検査前の8時間は、水以外（食事、サプリメント等）は摂らないで、午前中に採血してください。検査前日の夕食も、肉、魚などの高たんぱく質の食事は摂りすぎないようにしてください。

運動

当日朝は



正しい検査結果を得るために、検査当日朝の運動はお控えください。

お薬

事前に
相談を



薬剤のAICS値への影響に関しては分かっておりません。検査当日のお薬の服用方法については、事前に主治医または検診施設にご相談の上、その指示に従ってください。

受診対象外

検査時に妊娠されている方、授乳中の方、がん患者（治療中を含む）の方、先天性代謝異常の方、透析患者の方は、検査結果に影響がありますので検査は受けられません。

◎AICS®の検査結果の判断について

AICS®はその他の検査結果とともに総合的に判断されるものです。現在がんである可能性に対する考え方や感じ方は個人により異なりますので、本検査結果の解釈やその他の必要な検査に関しては、医師にご相談ください。

◎現在までにAICS®の結果に影響を与える可能性が分かっている病気

現在下記の病気にかかっている方は、AICS値に影響を与える可能性があります。検査の対象外とするものではありません。

- ・AICS（肺） 慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎、非結核性抗酸菌症、肺結核、肺気腫、無気肺
- ・AICS（前立腺） 前立腺肥大、糖尿病
- ・AICS（子宮・卵巣） 子宮筋腫、子宮内膜症、良性卵巣腫瘍
- ・複数のAICS® 脳梗塞

エーアイエルエス

◎AILS®の検査結果の判断について

糖尿病の発症リスクは、AILS（糖尿病リスク）と、その他の検査結果とともに総合的に判断されるものです。本検査結果の解釈や必要な他の検査に関しては、医師にご相談ください。

◎高値を示すことが現在までにわかっている病気・所見

糖尿病発症との関連が報告されている以下の病気・所見について、「ランクB」、「ランクC」を示す割合が高くなることが知られています。

- ・食後高血糖 ・高血圧 ・脂質異常症 ・メタボリックシンドローム ・内臓脂肪型肥満 ・脂肪肝 ・肝機能異常